



村はひとつ 学校はひとつ 願いはひとつ 地域コミュニティを核とした
天栄だからできる少人数教育

2021.12.17

教育委員会だより No.125



愛村心（I 尊心）を育む 天栄村！

発行：天栄村教育委員会

小中英語パートナーシップ事業 公開授業研究会

11月29日（月）、広戸小学校と天栄中学校において、外国語科の公開授業研究会が行われ、県中地区小・中学校の先生方86名がオンラインで見学しました。

今回の授業研究会は、県からの指定を受けている「小中英語パートナーシップ事業」に係るもので、本村における、小中学校の指導の連続性を踏まえた、児童生徒の英語力向上に向けたこれまでの取組を、授業を通して紹介しました。

広戸小学校では、6年生が、ALTの好みに合ったなべ料理を完成させるために、選んだ食材がどの栄養素に入るかについて、英語で友だちと伝え合いました。天栄中学校では、1年生が、ALTの弟さんへのウエルカムパーティーの内容について考え、友だちとどのような準備をしているのかを英語で尋ねたり答えたりしました。



村学力調査実施

11月29日（月）～12月3日（金）までを村の学力調査実施期間と定め、村内全校において国語科と算数科の学力調査を実施しました。

本調査は、児童・生徒一人一人の学習の成果と課題を明らかにし、実態を踏まえた指導に改善していくこと、村全体の教育のあり方を評価、検討するために行います。

結果は1か月程度で各校に届きます。結果を分析し、すぐに指導改善につなげていきます。

天栄中学校 & 湯本中学校オンライン合同授業

10月28日（木）、小学校に続き第2弾となるオンライン合同授業が、天栄中学校と湯本中学校の間で行われました。

行われたのは、2年生の道徳科の授業で、秋田県の中学校で実際にあった校舎建て替え時の記念事業に関する内容をもとに、この事業を実行しようとした生徒の気持ちや「校舎には人を優しくする力があつた」という一文の意味などを考えました。湯本中学校の生徒も、タブレットの画面越しにグループ活動に参加し、感想を言い合って考えを深めていました。





生涯学習事業

村民一人一人が自己の能力を高め、生きがいを持って豊かで充実した人生を送れるよう、誰もがいつでも自由に学習機会を選択できる環境を整え、「愛村心を育むふるさと教育」を目標に取り組んでいます。そうした村民の主体的な学習活動を支援し、習得した知識を地域へ還元できる人づくりを推進していきます。

○「お葉つき銀杏」村指定文化財に答申

11月24日、村文化財保護審議会から村教育委員会に対し、村内大里の武隈神社境内にある「お葉つき銀杏」について村指定文化財（天然記念物）として妥当であるとの答申がありました。これで村指定文化財は22件目となり、天然記念物としては4件目です。昭和62年以来、実に34年ぶりの指定となります。



久保教育長に答申する高野委員長



国内でも貴重なお葉つき銀杏

○寿大学閉講式

12月13日（月）、生涯学習センターで令和3年度寿大学の閉講式が開催されました。

令和3年度の受講生は28名で、うち15名が皆勤賞を受賞しました。

今年度の寿大学は全6回の開催で、映画鑑賞や、健康講座「起きる時の動き方」の受講、文化祭の作品作りでは「きめこみパッチワーク」を作成し、文化祭での展示後は生涯学習センター入り口にも展示を行う等、一年を通して、「日頃から趣味や運動の習慣をつけて人生に生きがいを持ち、健康で長生きすること」を目的に活動することができました。

閉講式のアトラクションでは松明家五老介さんによる落語、演目「百川」が披露され、受講生は笑顔で今年度の寿大学を終えることができました。

次年度も60歳以上の方の参加者を募集しますので、多くの方の参加をお待ちしております。

